

第13期 決算公告

平成27年2月25日

佐賀県鳥栖市轟木町二本松1670 番地2

コカ・コーラウエストプロダクツ株式会社

代表取締役社長 森本 一弘

貸借対照表

(平成26年12月31日現在)

(単位:千円)

科目	金額	科目	金額
(資 産 の 部)		(負 債 の 部)	
流動資産	3,612,362	流動負債	2,154,702
現金及び預金	96,629	買掛金	581,594
売掛金	1,483,627	未払金	788,207
貯蔵品	498,354	未払費用	244,689
前払費用	10,636	未払法人税等	254,888
繰延税金資産	38,981	未払消費税等	176,052
未収入金	75,191	預り金	109,270
仮払金	45,922	固定負債	796,052
未収利息	122	退職給付引当金	587,554
預け金	1,362,897	長期未払金	208,498
固定資産	394,307	負債合計	2,950,754
投資その他の資産	394,307	(純 資 産 の 部)	
長期前払費用	7	株主資本	1,055,916
繰延税金資産	391,751	資本金	100,000
その他の投資	2,548	資本剰余金	653,169
		その他資本剰余金	653,169
		利益剰余金	302,746
		利益準備金	25,000
		その他利益剰余金	277,746
		繰越利益剰余金	277,746
		純 資 産 合 計	1,055,916
資 産 合 計	4,006,670	負債純資産合計	4,006,670

(注)記載金額は、千円未満の端数を切り捨てております。

注 記 事 項

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) 資産の評価基準および評価方法

たな卸資産

貯蔵品

移動平均法による原価法を採用しております。

(2) 引当金の計上基準

退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務および年金資産の見込み額に基づき、当事業年度末において発生していると認められる額を計上しております。

a. 退職給付見込額の期間帰属方法

退職給付債務の算定にあたり、退職給付見込額を当事業年度末までの期間に帰属させる方法については、給付算定式基準によっております。

b. 数理計算上の差異及び過去勤務費用の費用処理方法

過去勤務費用（債務の減額）は、その発生時における従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数（1年）による定額法により按分した額を発生時から費用の減額処理しております。

また、数理計算上の差異は、各事業年度の発生時における従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数（主として10年）による定額法により按分した額をそれぞれ発生の翌事業年度から費用処理することとしております。

(3) 消費税等の会計処理

税抜方式によっております。

2. 会計方針の変更に関する注記

（退職給付に関する会計基準等の適用）

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下、「退職給付会計基準」という。）および「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日）が平成25年4月1日以後開始する事業年度の期首から適用できることになったことに伴い、当事業年度の期首よりこれらの会計基準等を適用し、退職給付債務および勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の決定方法についても、従業員の平均残存勤務期間に近似した年数に基づく割引率から、退職給付の支払見込期間および支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取り扱いに従って、当事業年度の期首において、退職給付債務および勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を当事業年度の期首の利益剰余金に加減しております。

この結果、当事業年度の期首の繰越利益剰余金が159,545千円減少しております。また、これにより当事業年度の営業利益、経常利益、税引前当期純利益はそれぞれ15,411千円増加しております。

以 上